

病気や障害があっても
住み慣れた地域で
その人らしく安心して
暮らせるようにするために



日本一の健康長寿県構想
嶺北地域推進協議会



平成
29
年度

認知症に重点をおいた地域包括ケアの推進 (嶺北地域アクションプラン)

平成25～29年度の取り組み目標は…

- 医療・介護・福祉の連携の推進
 - ・ 認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの推進の仕組みづくり
 - ・ 在宅ケアを支えるための入院・入所施設との連携の仕組みづくり
 - ・ 地域が一体となった看護・介護職員の確保対策の推進
- 地域の見守りや支え合いの推進
 - ・ 地域で認知症を理解した人が増え、支える仕組みづくり
 - ・ 認知症の方を支援する行政、専門職と住民の連携



この認知症に重点をおいた地域包括ケアの推進（嶺北地域アクションプラン）は、下記の推進協議会メンバーが協力して作成しました。

ぜひ、各団体の関係者や地域住民の皆さまにご一読のうえ、アクションプランの取り組みをご理解いただき、病気や障害があっても、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らすことのできる地域づくりに役立てていただきたいと思います。

日本一の健康長寿県構想嶺北地域推進協議会メンバー一同

日本一の健康長寿県構想嶺北地域推進協議会メンバー

土佐長岡郡医師会副会長、公立医療機関代表、高知県看護協会嶺北地区代表、高知県薬剤師会嶺北地区代表、嶺北地区社会福祉協議会代表、嶺北地区民生委員児童委員代表、嶺北地区介護施設代表、あったかふれあいセンター受託機関代表、中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会（嶺北地区）代表、地域のボランティア代表、嶺北の地域リハを考える会代表、本山町代表、大豊町代表、土佐町代表、大川村代表

認知症に重点をおいた地域包括ケアの推進（嶺北地域アクションプラン）

医療・介護・福祉の連携の推進



本山町 大豊町
土佐町 大川村

- 認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの連携の仕組みづくり
- 在宅ケアを支えるための入院・入所施設との連携の仕組みづくり

れいほくバスツアー（就職相談会）

地域が一体となった
看護・介護職員の確保対策の推進

平成28年度で3回目となる嶺北地域の就職相談会「れいほくバスツアー」。当日は、各参加施設の個別面談のほか、直接現場を見る、施設見学も行われました。また、ツアー参加者の皆さんに、地域の人気イベント「土佐の豊稜祭」にもご案内。地域の美味しいものなど堪能しつつ、楽しみながら就活できたのではないかと思います。

この「れいほくバスツアー」も徐々にではありますが、地域内外で認知され始めているように思います。今後も地域で力を合わせて、人材確保に努めていきたいと思っております。（ツアーは平成28年10月10日に開催しました）

早明浦病院

・外部講師を招き、認知症に関する研修会や、認知症初期集中支援チームの活動についての講演会を開催し、職員の資質向上に努めました。
・訪問リハの広報活動により、利用者も増加傾向。また、退院前カンファレンス、退院前訪問を積極的に行うなど、在宅復帰への支援体制強化に努めました。

嶺北中央病院

退院前カンファレンス、退院前リハビリ訪問の積極的運用や、介護家族の負担軽減につながるレスパイト入院を実施。また、地域包括支援センターとの連携で、在宅ケアを支える取り組みを行いました。

高知県看護協会（嶺北地区）

認知症高齢者の理解や看護実践に必要な知識を学ぶなど、協会主催を含めた各種研修会への参加を推奨し、看護職員の対応力向上に努めました。

高知県薬剤師会（嶺北地区）

気軽に店内で相談できる雰囲気づくりを心掛け、気づきノートを活用し多職種につなぐことができました。

中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会

中央東ブロックにて、研修会「高齢者及び障がい者の個別ニーズから地域課題へ」を開催しました。

本山町

・認知症ケアバスが完成しました。
・嶺北中央病院地域連携室との協力により、関係者を含めた連絡会を開催しました。



本山町の認知症ケアバスが完成しました！

大豊町

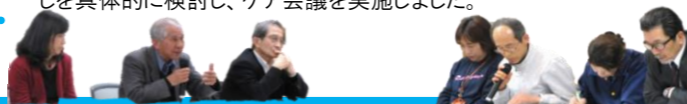
認知症初期集中支援チーム検討委員会を立ち上げ、検討会を実施。また、チーム員研修修了者による、伝達講習を実施し、認知症初期集中支援チーム員を確保することができました。

土佐町

地域ケア会議（個別ケア会議）の開催や、認知症初期集中支援チームでのチーム会議や訪問支援等を行いました。

大川村・大川村社会福祉協議会

ケア会議について、会議での使用様式の変更や、検討対象者の見直しを具体的に検討し、ケア会議を実施しました。



在宅医療・介護連携推進事業について検討を始めました

嶺北地域での在宅医療・介護の取り組みを進めるためには、人材の確保や地理的条件など、山間部ならではの様々な課題を乗り越えていかなければなりません。そこで、嶺北地域では、この取り組みを4町村がばらばらに取り組むのではなく、共に力を合わせて取り組むこととし、今後進めていくことになりました。まずは、共同で取り組める体制づくりなどから検討を始めています。



参加事業所の職員が
ダンスでPR！

嶺北高校の学生による
地域紹介

れいほくバスツアーでの
就職相談や施設見学の様子

各施設ブースを設けて
就職相談を行いました。

参加者の皆さんに実際に
施設を見学していただき
ました。

嶺北地域の人材確保への動きは「れいほくバスツアー」だけではありません！

このほかにも、高知市内で行われた「ふくし就職フェア」や看護職員就職説明会への参加、また、高校生の体験学習の受け入れなど、各団体、積極的に取り組みを進めています。また、就職に合わせた家族用職員住宅や空き家の紹介など、嶺北地域への移住促進にも努めました。

地域の見守りや支え合いの推進

● 地域で認知症を理解した人が増え、支える仕組みづくり

● 認知症の方を支援する行政、専門職と住民の連携

高知県薬剤師会嶺北地区

・地域学生の職場体験受け入れ時に、認知症対応ガイドブックの配布、見守り活動や気づきノート活用実績など、認知症支援について説明し、若い世代への啓発も図りました。
・気になる患者さんに対して、民生委員やケアマネジャーと情報共有することで、連携を図っています。

社会福祉協議会（大豊町社会福祉協議会）

・中学生のボランティアキャンプで認知症サポーター養成講座を実施しました。
・あったかふれあいセンターでの見守り及び啓発活動を強化しました。また、ミニデイでの啓発活動を開始しました。

嶺北地区介護施設

・5名の職員が認知症キャラバン・メイト養成講座を受講。また、2月には全職員を対象に認知症サポーター養成講座を実施しました。
・介護者の集いの場をオープンさせるために準備を進めました。

本山町

・嶺北高校生、シルバー人材センター職員、各地域ミニデイで、認知症サポーター養成講座を開催しました。
・介護者家族の会のチラシを毎月配布し、活動の周知や理解について推進しました。
・地域見守りネットワーク会にて、民生委員、区長、各地区自主防災組織代表と定期的な意見交換を行い、連携を深めました。

大豊町

・中学生のボランティアキャンプや地域住民を対象に、認知症サポーター養成講座を開催し、68名のサポーターを養成しました。
・住民モニターと認知症予防教室を6回行いました。また、自主活動グループのリーダー交流会を実施するなど、住民との取り組みにも努めました。

大豊町の認知症サポーター養成講座。
確実にサポーターが増えてきています！



土佐町

・民生委員との個別面談や日頃からの情報共有を行うことで、早期発見の取り組みに努めました。
・介護家族のつらいを継続的に支援しています。

大川村・大川村社会福祉協議会

認知症に限らず介護が必要な方、そのご家族について、マッピングを行い、村内の東西で特色があることが分かり、西地区において、あったかふれあいセンター事業寄りどこの開催をスタートさせました。

認知症キャラバン・メイト養成講座受講！
自分たちで考えたサポーター養成講座の内容を発表しました。



私たちは、それぞれの目標に向かって、平成28年度は主にこのような取り組みを進めてきました。会議では、取り組みの成果や課題を共有し、次につなげていきます。平成29年度の取り組み目標は裏面をご覧ください。

平成28年度 嶺北地域の主な取り組み



医療・介護・福祉の連携の推進



- 認知症の早期発見・早期対応に向けた在宅ケアの連携の仕組みづくり
- 在宅ケアを支えるための入院・入所施設との連携の仕組みづくり
- 地域が一体となった看護・介護職員の確保対策の推進

早明浦病院

認知症に対する理解を深め、実践に活かすことができるよう、各種研修会等へ積極的に参加していきます。また、講演会の開催等、啓発活動を行うとともに、各種団体が主催する会議等にも参加し、連携を図っていきます。

嶺北中央病院

介護者家族の負担軽減につながるレスパイト入院、退院前カンファレンスや退院前リハビリ訪問を積極的に運用していきます。また、地域包括支援センターとの情報共有も行き、さらなる連携を図っていきます。

高知県看護協会嶺北ブロック

- ・職場体験、ふれあい看護体験、復職支援研修等、可能な施設で受け入れを行っています。
- ・れいほくバスツアーだけでなく、高知市で行われる就職説明会へも参加し、人材確保に努めます。

高知県薬剤師会嶺北地区

引き続き「気づきノート」を活用し、多職種との連携を図っていきます。

嶺北地区介護施設

将来的な人材確保に向け、小・中・高のキャリア教育や職場体験事業へ積極的に参加していきます。

中央東ブロック介護支援専門員連絡協議会（嶺北）

医師とケアマネジャーの連絡票をケアマネジャーに配布し、啓発していきます。

本山町

- ・認知症ケアパスを全戸及び関係機関に配布します。
- ・病院地域連携室と協力し、地域関係者との情報共有の場を定期的に持ち、連携を図っていきます。

大豊町

- ・認知症初期集中支援チームの名称を「もの忘れ相談係」として、住民に周知・啓発を行います。
- ・早期発見につなぐツール「DASK」などの勉強会を行います。

土佐町

- ・地域ケア会議（個別ケア会議）を定期開催します。
- ・認知症初期集中支援チームでの対応が必要なケースについて、継続して支援していきます。



在宅医療・介護連携推進事業

嶺北4町村共同で進めていきます！

嶺北地域の医療と介護について、4町村が共同で、連携できるシステム作りをすすめていきます。今後は、4町村の医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターを配置。相談窓口として、連携の取り組みの支援体制を構築するとともに、地域の医療・介護の資源についても把握していき、今後の連携体制の支援につなげていきます。

嶺北地域就職相談会

「れいほくバスツアー」今年も開催します!! (日時未定)

嶺北地域の人材確保は重要な課題です!



地域の見守りや支え合いの推進

- 地域で認知症を理解した人が増え、支える仕組みづくり
- 認知症の方を支援する行政、専門職と住民の連携



社会福祉協議会代表（大豊町社会福祉協議会）

- ・認知症カフェを開設します。
- ・地域に合った仕組みを考える場づくりとして、交流会等検討していきたいと思います。
- ・「医療情報キット」を活用し、民生委員を中心とした地域での見守り体制を充実させていきます。

本山町

- ・本山町地域見守りネットワークと協働活動します。
- ・民生委員との定期的な意見交換会を継続します。

大豊町

- ・小学校、中学校の生徒や教師に認知症の人を含む高齢者への理解を深めてもらえるように、教室を実施します。
- ・家族会「おしゃべり会」を半年に1回開催します。また、前年度行ったアンケート調査の結果を会に反映させていきます。

土佐町

- ・生活支援体制整備事業の中で、認知症を含めた地域の見守りや支え合いについて検討していきます。
- ・あじさいネットのメンバーで認知症ケアパスを検討し完成させます。

大川村・大川村社会福祉協議会

まだまだ、認知症に対するイメージや理解が十分ではないことも感じられるので、住民の方への普及啓発に努めていきます。また、あったかふれあいセンター事業の「寄りどころ」を活用し、専門職による相談の場を開催します。

認知症サポーター養成講座や家族会・介護者の集いなどの開催、民生委員さんや地域の方々との連携を強化し、認知症の方やそのご家族をサポートしていきます。



このほかにも、目標や課題がたくさん出ました。平成29年度も嶺北地域が丸ごと取り組んでいきましょう!



平成29年度 嶺北地域の取り組み目標